

はい、すみません。臨時で集まっていただきまして恐縮です。

今日はですね、三重県のコロナ対策であります感染防止行動徹底アラート、これを発出させていただくということで、皆さんにお知らせをさせていただきたいと思えます。

病床使用率ですが、11月23日にですね、感染者数が2066人ということで最大を記録しました。第8波で最大という意味ですね。そして病床使用率が48.4%です。今日の段階ではですね、病床使用率は44.1%、ちょっと下がってきております。

この病床使用率の考え方ですけれども、次のページをお願いします。

(資料を提示)

今申し上げた病床使用率は病床、そのときの病床の数ですね、これに応じた病床使用率ということで、今日が44.1%というふうに申し上げたわけでありまして。ちょっと見にくいんですけど、この下にこう書いてございますけれども、病床使用率はですね、11月17日までに372床にしようということで、各病院で増やしていただいております。11月22日までに493床ということで、増やしていただいているわけです。12月6日に向けて各病院では558床まで増やしていただくということで対応していただいているわけですので、12月6日になりますとですね、ここの最大確保病床という欄を見ていただければと思えますけれども、ここが一定の期間の最大病床、例えば11月18とか19でいうと、各病院は493床に向けて病床を増やしてこようとしているわけですね。ですので、この493というのを11月の18から22までは493ということで病床使用率を出してみますと、そうすると、前回会見をしました22日が40%を超えて41.2%であったということですので、実は12月2日までですね、493でいこうと思っていたんですけど、かなり入院される方が多くなってきたということもありまして、558に病床を増やそうということになりましたものですかから、11月23日の時点では558に増えているわけではないんですけど、12月6日に558に増えるということで計算をしてみますと、病床使用率は一旦こう減るという形になりますが、実数はこの左側の数字になります。

それで、ここから先は見込みになります。まず、感染者がどんなふうが増えていくかということでありまして、これは11月19日から25日の1週間の入院患者の増加率、増加率は1日2.8%で増加をしているということで、それが同様に増加していくというふうに計算したものが一番右側です。入院患者数ということでありまして。それでいきますと、ここにあるそれぞれの病床、最大病床でいくとここですけれども、その時々毎日の病床でいくと、この黄色い病床使用率で数字が計算できる。これはあくまでも推計です。このように増えていくかどうかわかりません。ピークアウトしていく可能性もなくはないということでありまして。

推計で見ていきますと、その前に最大病床使用率は最大病床使用率であっても、実は22日の40%を超えました。一旦病床を増やしますので、減りますけれども、推計でいきますと27日にまた40%を超えるということでありまして。恐らくまだピークアウトはしていないので、これから感染者数はまだ増えていくということになります。27日からまた感染者が増えていくので、最大病床558でも40%を超えていく日がずっと続いていくということに

なります。

最大病床使用率で計算しますと12月6日、これは推計ですけれども、12月6日には50%を超えるのではないかという推測が働くということでもあります。実数でいきますと、あまり変わりませんが、12月3日、ここに51%となって50%を超えるだろう。こういうことでもあります。

次をお願いします。

(資料を提示)

こういうこともありまして、40%を超えるのが常態化しているという形です。したがって、今回アラートを出させていただこうというふうに思っております。

前回22日にご質問もいただきました。院内感染もありまして、院内感染率が22日のあたりで大体25%です。第7波のときは10%から30%と、こういうぐらいの院内感染率だったんです。25というのはかなり高い感染率です。しばらくすると、院内感染はおさまっていくというのが第7波の時の我々の経験ですので、それがおさまっていけば、40%は瞬間的には超えるけど、また減っていくんじゃないかというふうに思っていましたけど、今の状況でいうとですね、さほど新規の感染者の数というのは減っていかないで、一定の確率で入院をされますから、そうすると、病床使用率は先ほど見ていただいたように一旦その最大病床の数が558に上がりますので、40を下回りますけど、早晚40に戻ってくるだろうということで、本日アラートを出させていただくということを考えさせていただいたわけです。

このアラートの意味ですけれども、今後ですね、病床が先ほど見ていただいたような数字で使用が増えていきますと、入院ですとか、手術の延期だとか、通常医療に影響が出てくる可能性があります。したがって、市中でも感染の防止の対策を徹底していただきたいという意味です。

これから病床使用率が40から50に向かって増えていく、さらにそれを超えて増えていくということになりますと、その段階で、これは病院によるかもしれませんが、あるいはそのときの感染状況などによりますけれども、入院や手術の延期なども出てくる可能性があるため、これ以上市中で感染を増やさないようにしていただきたいということでのアラートであります。

ワクチン接種機会の活用、ぜひワクチンを打てる人は打っていただきたいということ、マスク着用もやっていただき、換気、これをぜひやっていただきたい。これから寒くなってきますけれども、換気は非常に重要であります。高齢者などに感染を広げないにしたいと思います。

次のページをお願いします。

(資料を提示)

感染拡大防止アラートの設定であります。今後50%を超えた場合ですね。そうすると、医療逼迫対策強化宣言が視野に入ってくるわけですが、これは50%を超えただけでは宣言を出すということには直ちにはならないと思います。診療機関などの患者が増えているとか、これはコロナに限りませんが、緊急の外来患者が増えているとか、あるいは

は救急搬送が困難になっているというようなことなどを総合的に勘案して強化宣言を出すかどうかを決めるということですが、そのときには恐らく、愛知・岐阜とも相談をしながら、前回第7波のときにやったようなやり方をまずは施行するということになると思います。

それから検査体制ですけれども、自己調達した、自分で買っていただいたですね、検査キットで検査をしていただくのが11月28日からできるようになります。これは検査キットにいろいろな種類がありますので、どういう検査キットであればいいかということ現場の対応をする人に徹底をします。ちょっと時間がかかっていますが、11月28日から使えるようになるということでもあります。

それからワクチン接種体制はこの間も申し上げました、後でまたもう一度申し上げますので、接種会場を設けてやっております。

それから、今医療提供体制は558まで拡大をさせていただきます。

次お願いします。

(資料を提示)

県民の皆さんへのお願いであります。主に3つですね。ワクチン接種、ぜひお願いいたします。換気、なかなかやりにくい気温になってきています。それからご家族では、マスクをしていないこともあろうかと思えます。それから、会合の場所などではマスク会食を推奨はしておりますけれども、あまりマスクをつけたままという方は多くないような状況も聞いております。ということでいきますと、もうワクチン接種をして重篤化しない、あるいは、感染を予防するということが重要であろうと思えますので、ぜひ打てる方は打っていただきたいと思えます。

それから感染防止対策、換気ですとか、あるいはマスクの着用、これをぜひお願いしたいと思えます。外を一人で歩く場合などにマスクを着用する必要ありません。これは前と変わりません。それから、体調不良時への備えとして、検査キットをご購入いただくなどの対応もお願いしたい。

この3点を県民の皆さんにお願いをしたいと思えます。

次お願いします。

(資料を提示)

それを図示したものです。オミクロン対応ワクチンも既に予約が入り始めておりまして、今までの予約のペースですね、第7波のときの終盤と比べますと、かなり早い状況で予約が埋まりつつあるということです。17日の四日市も40%予約が埋まっているということでもありますので、これは県営会場ですけれども、基礎自治体、市町が、ワクチンを接種していただいているところもありますので、そういったところでも結構ですし、あるいは診療所でも結構です。可能な限りワクチンを打っていただきたいと思えます。

それから換気ですね。換気の徹底をお願いしたいというふうに思います。以上です。

というところで、本日アラートを出させていただきましたということです。

私から以上です。